

コミュニティデザインとは

デザインの力を使って、コミュニティが持つ課題解決力を高めるよう支援すること。

プロジェクト一覧

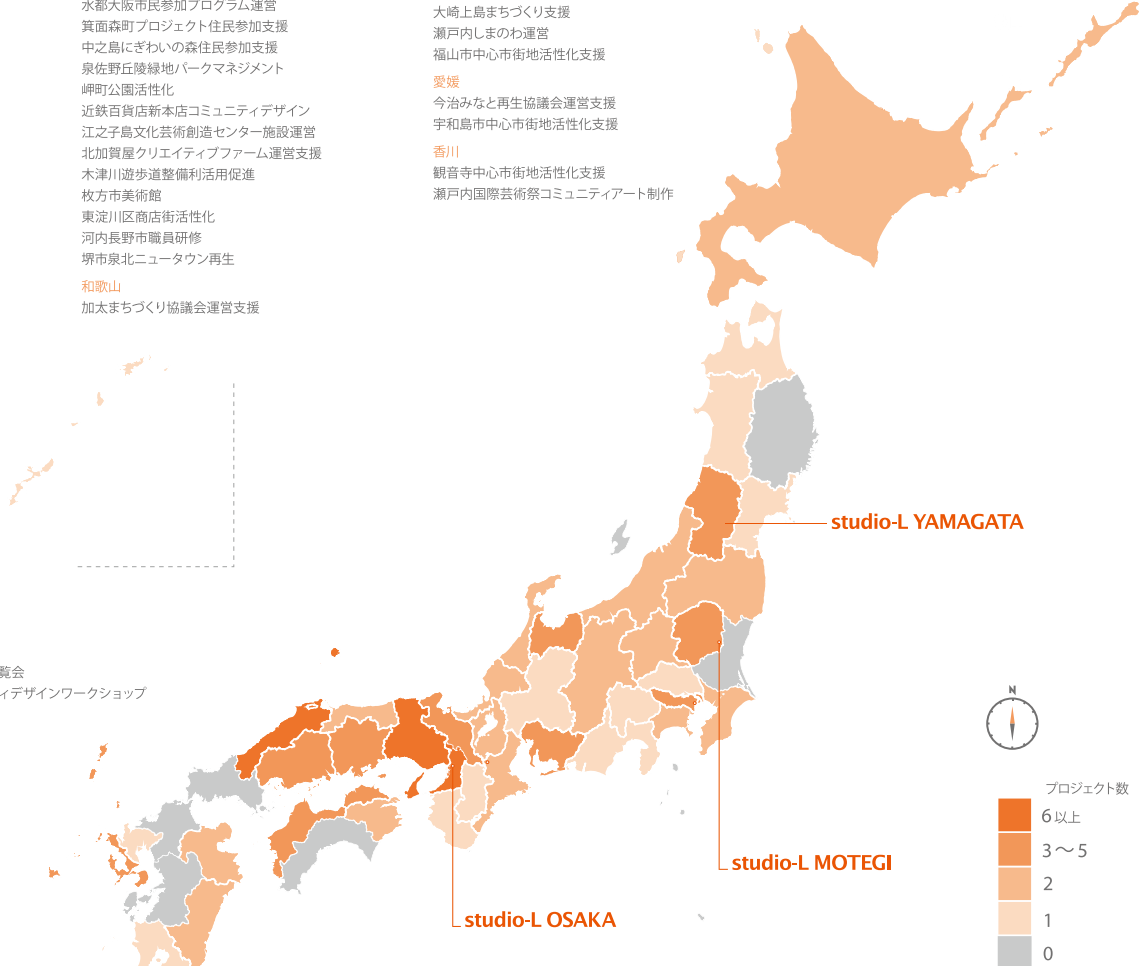
- 北海道**
 - サロマ町まちづくり支援
 - 沼田町コンパクトタウン構想支援
- 青森**
 - むつ市市民会議アドバイザー
- 秋田**
 - 森吉山ダム住民参加支援
- 山形**
 - 東北芸術工科大学学科運営
 - 山形県集落支援員育成
 - 山形市まちなか再生事業
- 宮城**
 - 石巻アドバイザー
- 福島**
 - 相馬市防災緑地
 - アールブリュット美術館運営
- 新潟**
 - 燕市若者会議支援
 - 十日町中心市街地
 - つばめ若者会議事業
- 栃木**
 - 土祭市民参加プログラム運営
 - 真岡市観光ネットワーク形成支援
 - 栃木県観光地活性化人材育成
 - 栃木県観光リーダー塾
 - 栃木県地域づくり団体育成
- 群馬**
 - 群馬病院コミュニティデザイン
 - 富岡市世界遺産まちづくり支援
- 埼玉**
 - 美里町まちづくり
- 東京**
 - 常盤台外科病院コミュニティデザイン
 - 墨田区食育推進計画策定
 - 立川市庁舎跡地コミュニティデザイン
 - 立川市子ども未来センター運営
- 千葉**
 - 睦沢町上市場地区
 - 木更津市中心市街地
- 神奈川**
 - 公団健康増進プログラム企画
 - 東横線跡地利用コミュニティデザイン
- 山梨**
 - 笛吹市境川地区まちづくり支援
- 長野**
 - 木島平村総合振興計画策定
 - 筑北村里の駅整備事業
- 富山**
 - 氷見市
 - 宇奈月温泉温泉街再生活動支援
 - 庄川峡温泉
- 静岡**
 - 静岡市総合計画策定
- 石川**
 - 金沢21世紀美術館「3.11以降の建築」展覧会
 - いしかわ在宅ネットワーク921コミュニティデザインワークショップ
- 愛知**
 - 長久手市まちづくり支援
 - 作手地区コミュニティデザイン
 - 長久手地域共生ステーション
 - 高浜地域福祉計画策定
 - 新城市アドバイザー

- 福井**
 - 福井市中心市街地活性化支援
 - 池田町住民参加型まちづくり支援
- 岐阜**
 - 美濃市ワークショップ運営
- 三重**
 - 穂積製材所プロジェクト運営
 - 伊賀市公民館活用
- 滋賀**
 - 栗東市安養寺地区まちづくり支援
 - 草津川跡地整備/パークマネジメント
- 京都**
 - 木津川右岸運動公園パークマネジメント
 - 京都まちセン学生コンペ運営
 - 福知山河川公園パークマネジメント
 - 笠置町探られる里プロジェクト
- 奈良**
 - 国営飛鳥歴史公園パークマネジメント
- 大阪**
 - 堺市環濠地区まちづくり
 - 千里リハビリテーション病院運営支援
 - 千里園ランドスケープデザイン
 - 山之口商店街看板デザイン
 - 余野川ダム住民参加支援
 - フレンド提供公園活性化
 - 築港ランドスケープデザイン
 - 水都大阪市民参加プログラム運営
 - 箕面森町プロジェクト住民参加支援
 - 中之島にぎわいの森住民参加支援
 - 泉佐野丘陵緑地パークマネジメント
 - 岬町公園活性化
 - 近鉄百貨店新本店コミュニティデザイン
 - 江之子島文化芸術創造センター施設運営
 - 北加賀屋クリエイティブファーム運営支援
 - 木津川遊歩道整備利活用促進
 - 枚方市美術館
 - 東淀川区商店街活性化
 - 河内長野市職員研修
 - 堺市泉北ニュータウン再生
- 和歌山**
 - 加太まちづくり協議会運営支援

- 兵庫**
 - 有馬富士公園パークマネジメント
 - ユニセフパークプロジェクト運営支援
 - いえしままちづくり支援
 - 多自然居住地域における安全・安心に関する研究
 - 「震災+デザイン」プロジェクト運営
 - 「神戸+デザイン」シンポジウム運営
 - 夢前町コミュニティデザイン
 - 川西市地域分権制度運営支援
 - 旧船坂小学校跡施設活用プロジェクト
 - 譜久山病院新築
- 鳥取**
 - 大山町総合計画策定
 - 倉吉市明倫地区
- 岡山**
 - 笠岡諸島こども総合振興計画策定
 - 真庭市地域雇用創造協議会運営支援
 - 笠岡市産業振興ビジョン策定
- 島根**
 - 慶照保育園改修
 - 環境教育プログラム策定支援
 - 交流施設改修設計
 - 海士町総合振興計画策定
 - 島前高校ブランド化支援
 - 海士町CI企画
 - しまね流安心生活創造プロジェクト支援
- 広島**
 - 大崎上島まちづくり支援
 - 瀬戸内しまのわ運営
 - 福山市中心市街地活性化支援
- 愛媛**
 - 今治みなと再生協議会運営支援
 - 宇和島市中心市街地活性化支援
- 香川**
 - 観音寺中心市街地活性化支援
 - 瀬戸内国際芸術祭コミュニティアート制作

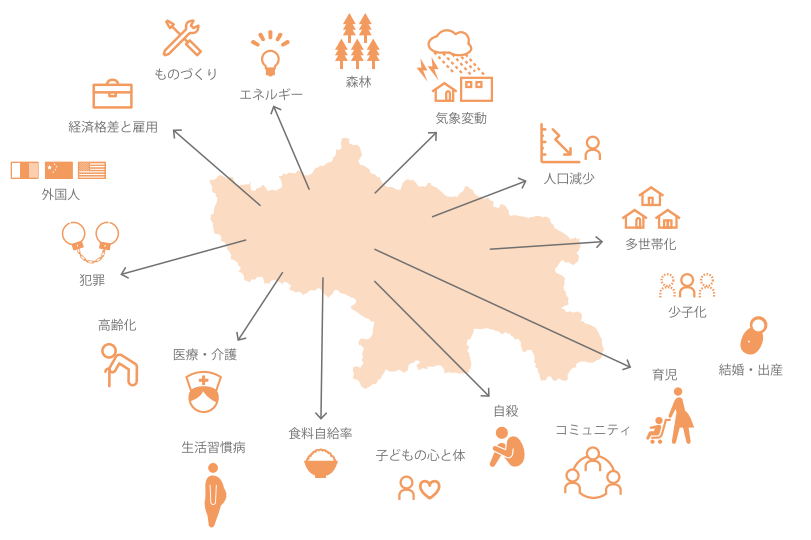
- 徳島**
 - つるぎまち総合振興計画
 - 伝統文化と地域づくりに関する研究
- 大分**
 - 豊後高田市中心市街地活性化支援
 - 鉄道残存敷活用検討協議会運営
- 佐賀**
 - 佐賀市まちなか再生計画支援
- 長崎**
 - 五島列島半泊集落活性化支援
 - 長崎県東彼杵町まちづくり支援
 - 長崎市あぐりの丘パークマネジメント
- 宮崎**
 - 延岡駅周辺整備コミュニティデザイン
 - 高千穂まちづくり支援
- 鹿児島**
 - 丸尾ヤガーデンズコミュニティデザイン
- 沖縄**
 - 日本園芸療法学会HP制作

OSOTO編集
いなか未来会議運営
「こどものシアワセをカタチにする」プロジェクト
「Issue + design」プロジェクト運営
「地域を変えるデザイン本」



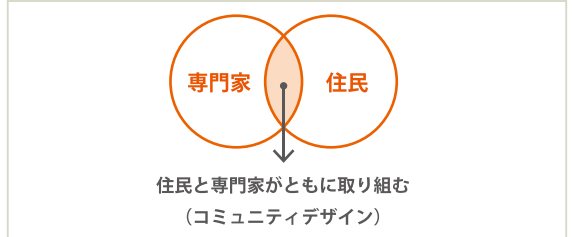
地域はいろんな課題を抱えている

各地域はさまざまな課題を抱えています。人口が減っていく社会において、これまでに予期しなかったような課題に遭遇することもあります。地域住民はこれらの課題を解決していくことを求められています。

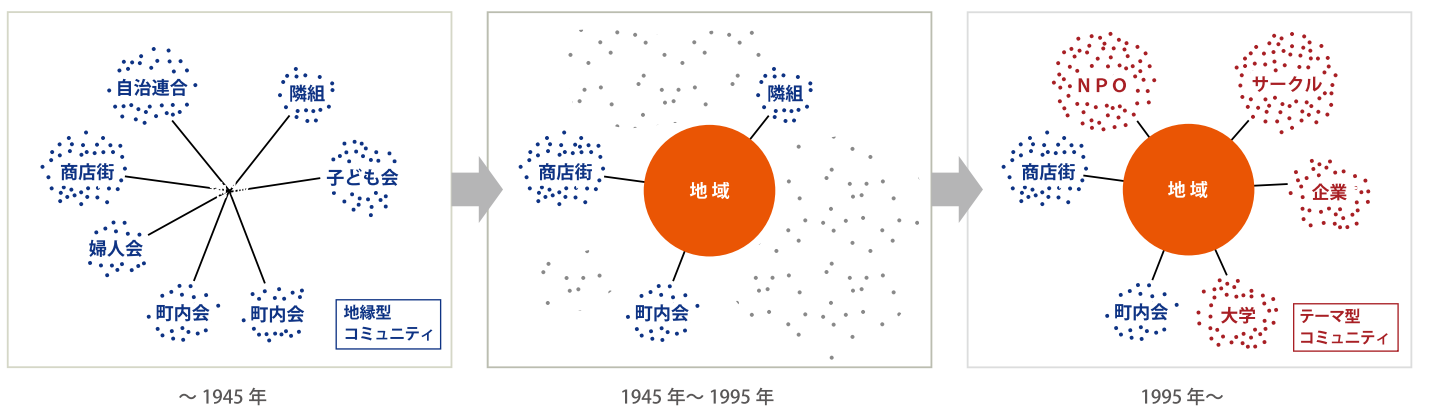


地域住民の参画が不可欠な時代

公共的な事業への住民参画および専門家等の参画を促進します。



コミュニティが持つ課題解決力を高めるよう支援する



「地縁型」は、同じ地域に住んだからこそ生まれる、まさに「地域の縁」でつながっていくコミュニティ。町内会や自治会がその代表格にあたります。「テーマ型」はたとえば鉄道が好き、とか、ラーメンが好き、とか、共通の関心や目的で結びついたコミュニティです。

近年、人と人とのつながりが希薄になっていることが社会問題になりつつあります。一人暮らしの高齢者が自宅で誰にも気づかれずに亡くなっていたという事件が年間に何件も発生しています。災害が起きたとき、近所に誰が住んでいるのかわからないために救出活動が思うように進まないという問題もあります。普段から「みんなで一緒に活動し、いざというときは助け合える関係性をつくること」が大切です。

コミュニティデザインの手法

地域コミュニティの活動を支援として、以下の4つの段階があります。

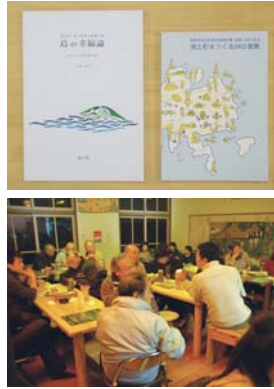
- 1** その地域のコミュニティを理解する (ヒアリング等)
- 2** 担い手としての主体者意識を高める (ワークショップ等)
- 3** 信頼感を高め組織化する (チームビルディング等)
- 4** 初動期の活動をサポートする (基金等)

studio-L 取り組み事例

計画策定

海士町総合振興計画策定

島根県隠岐諸島のひとつ海士町で、今後10年間の町運営の指針となる第四次総合振興計画を策定しました。この総合振興計画には、「海士町をつくる24の提案」という絵本のような他の自治体には見られない別冊があります。この別冊は、住民参加型で計画策定する過程で、住民が企画した「まちづくり具体案」を取りまとめたものです。行政が施策を進める一方で、住民もこの「まちづくり具体案」の中から、「できること」を順番に取り組んでいます。



笠岡市産業振興計画策定

笠岡市は、実効性の高い産業分野における計画とするため、ワークショップ「新しいしごとづくり会議」(全7回)を開催し、住民参加型のビジョン策定に取り組みました。住民の提案から生まれた地域産業振興のためのプラットフォーム「新しいしごとづくりセンター」が運営を開始しています。ワークショップ参加者がセンターのコーディネーターとなり運営に積極的に関わるなど、ビジョン策定から運用の段階へとスムーズに移行しています。



地域ブランディング

水都大阪

水都大阪2009を経て、2011年から開催された「水都大阪フェス」。これまで利用されなかった河川沿いの水辺空間を、毎年、大阪府内で活躍する団体や企業、そして府民市民が積極的に使いこなし、水都大阪の魅力を生み出してきました。2013年に入ると、府民市民や地域、各種団体との協働のもと、水都大阪フェス2013が開催されました。中之島西端の中之島GATEが会場に加わるとともに、サポーターメンバーによる自主企画も増え、水辺の使いこなしがさらに広がっています。



瀬戸内しまのわ

広島県と愛媛県の沿岸部と島しょ部で開催される観光まちづくりのイベント。2014年3月21日から10月26日まで開催され、広島県内の10市町が参加しています。studio-Lは実施されるイベントのうち、住民が自主的に企画する150個のイベントをサポートしています。毎月1回の企画相談と講座を開催すると同時に、しまのわで生まれた活動やつながりを、会期終了後も地域を元気にする「まちづくり」活動につなげるために、必要なことを企画実施者のみなさんと一緒に考えています。



中心市街地活性化

観音寺まちなか活性プロジェクト

香川県西端の観音寺市。人通りがなくなってきた商店街に、再びにぎわいを取り戻そうと、空き店舗を活用したイベント企画、アート体験プログラムの実施など、様々な取り組みを進めています。最近では、商店街のお店の中に別のお店が入る「Shop in Shop」プロジェクトが始まり、「仏壇屋+ピリヤードバー」等の奇抜な組み合わせのお店が生まれています。全国各地のまちづくり活動者との交流を目的としたサミットを開催するなど地域外との交流にも力を入れています。



福山市中心市街地賑わい創出

2012年7月より、市民の皆さんとともに今後の福山について考える「福山の未来づくりワークショップ」を開催しました。福山の「魅力」と「課題」について話し合ったりしながら、中心市街地で「何ができるか」「何をしたいか」を考えていきました。その中でいくつかのアイデアが生まれ、そのアイデアを実験するために社会実験『フクノワ』を開催しました。活動の「ワ」を広げながら、今後も「フクノワ」の活動は継続していきます。



医療・福祉

はじまりの美術館

はじまりの美術館は(福島県猪苗代町)、日本財団の支援金を受けて、築120年の酒蔵を改修して美術館をつくっています。この美術館は、アール・ブリュットの作品を中心とした企画・展示等に取り組みます。また復興支援として、地域と一体となって進めるプロセス重視型の手法を用いています。「はじまりの美術館」は、地域のみなさんと共に、地域が困っていることを解決する美術館を目指しています。



沼田町コンパクトエコタウン構想

沼田町では、高齢者が地域で安心して暮らすための施策として、市街地の中心部を在宅医療や地域包括ケアの拠点としたコンパクトなまちづくりを住民とともに目指しています。市街地中心部のコンパクトなエリアに医療・福祉・商業・住宅等の様々なサービスを充実させることで、高齢者の市街地中心部への住替えの促進し、さらに高齢者が移り住んだことによって生まれた空き家をリノベーションし、若い世代を誘致する取り組みを進めています。



観光・特産品開発

いえしま特産品開発

兵庫県姫路市に位置する家島は、40島余りからなる離島地区です。地元の主婦たちで設立された「NPO法人いえしま」と一緒に、島で盛んな水産業と連携した特産品開発に取り組んでいます。2009年からは、特産品を通じた都市部との交流も始まっています。関西の都市住民を対象に即売会や共同購入の仕組みを通じて商品を供給すると同時に、購入者等を家島に招いて、生産地見学型のツアーを開催し、地域間の交流を深めています。



福井人ガイドブック

福井には、個性的で魅力的な生活をおくる人々があふれています。そんな福井の人々を紹介しようと立ち上がったのも個性豊かな「福井人」の皆さん。ワークショップでの福井人の企画に始まり、取材、撮影、そして執筆、さらには資金調達まで「福井のためになにかがしたい!」というあつい想いを持ったみなさんと一緒に福井人を制作しました。また、クラウドファンディングの活用など、新しい試みにも挑戦しています。



人材育成

東北芸術工科大学

2014年春、東北芸術工科大学にコミュニティデザイン学科を創設し、デザイン手法を用いて「ふるさとを元気にする」人材の育成に挑みます。山形は、過疎や中心市街地の衰退などこれからの日本が直面する課題を抱える課題先進地。東日本大震災の被災地にも近く、コミュニティデザイナーを育てていくには申し分ない土地です。専任教員はすべてstudio-Lメンバー。まちづくりの現場と大学を行き来しながら、東北の明日を若い学生たちとともに切り開いていきます。



長久手市行政職員研修

長久手市では、市民と市職員がともに地域のことを地域で考え地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」づくりを進めています。このプロジェクトを担う若手市職員25人が集まり、「長久手おむすび隊」を結成。積極的に地域に飛び出し、市民と一緒に住民プロジェクトを推進していくための人材を育成してきました。2014年より始まった若手市民を交えたワークショップでは、おむすび隊メンバーがstudio-Lと協働しながら市民との話し合いを進めています。



施設運営

立川市子ども未来センター運営


旧庁舎跡地を改修し、様々な機能を備えた複合型公共施設の指定管理業務として市民活動支援を担当しています。スタッフがコーディネーターとして常駐し、センターを舞台に活動する団体の発掘やプログラムの企画支援、他団体とのつながりづくりなどのサポートと行い、毎月10~20個のプログラムが展開されています。最近では近隣百貨店との協働イベントやまちあるきなど、活動をセンター周辺に広げています。



近鉄百貨店 × 市民活動

2013年6月「あべのハルカス近鉄本店タワー館」のオープンに合わせて、百貨店初のチャレンジプロジェクト「縁活」が本格始動しました。あべのハルカス近鉄本店内に設置されたコミュニティスペース「街ステーション」を通じて、そこを活用する市民活動団体とボランティアチームと共に、日々の暮らしや地域、そして社会をちょっとよくなる楽しいプログラムを実施しています。市民活動と売り場との連携企画も多数生まれ、活動の幅が広がっています。





山崎 亮

studio-L代表。東北芸術工科大学教授(コミュニティデザイン学科長)。京都造形芸術大学教授(空間演出デザイン学科長)。慶応義塾大学特別招聘教授。1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。著書に『コミュニティデザイン(学芸出版社:不動産協会賞受賞)』『コミュニティデザインの時代(中公新書)』『ソーシャルデザイン・アトラス(鹿島出版会)』『まちの幸福論(NHK出版)』などがある。